



## 喜多埜

## お盆と神道

祖先の霊を祀る「お盆」。仏教行事と認識される事が多いですが、仏教の教義では説明できない風習も多々みられる事から、日本古来の神道の祖先崇拜に、仏教の盂蘭盆とが習合して現在の形になったといわれています。

お盆の時期は旧暦の七月十五日満月の夜（旧暦では十五日は満月になる）でしたが、現在は太陽暦の為、一ヶ月ずらして八月中旬に執り行うところが多いようです。

仏教のお盆である「盂蘭盆会（うらぼんえ）」は、現代では祖霊への供養の日と捉えられています。鬼道に墜ちた目連尊者の亡母の供養の伝説が元であったようで、祖先崇拜というよりも、無駄な殺生を禁じ施餓鬼を行うことにより、亡母の倒懸の苦を救う性格が仏教におけるお盆の形であったようです。

しかし、日本におけるお盆では、迎え火、送り火、盆踊り、灯笼流しなど、本来の仏教の教義には見られない行事が多くある事から、神様への感謝と祈念を捧げる冬の正月に対し、祖先への感謝と供養を供物、灯明、踊りで捧げるのが、神道におけるお盆の形であると考えられています。

近年は親を子が殺し、子が親を殺すというあまりにも心の凄惨な時代となり、お盆をただの休日としか捉えられない人が増えましたが、本来のお盆の意味である祖先、父母への感謝の心を子供たちに伝えるのも大切なお盆休みの過ごし方ではないでしょうか。

## 北京五輪

今月八日より二十四日までの間、中国の首都、北京において夏のオリンピックが開催されます。この五輪を迎えるまでに中国では大変多くの問題が浮き彫りになりました。人権侵害、環境問題、衛生問題、倫理観問題等々。しかし翻って考えてみればこれらは現代社会が共通して抱える問題ともいえるものです。今回の五輪のスローガンは「ひとつの世界、ひとつの夢」です。この五輪が未来に夢を託せる五輪となるよう祈るばかりです。

## 八月の旬

神事の際などに神さまにお供えする食べ物等の事を神饌（しんせん）といい、米・酒・塩・水などのお供え物が基本の神饌となります。本来、順番や置き方など色々作法があります。が、古来より日々の感謝を込めて「旬のもの」をお供えする素直な心根こそが、神さまが一番お喜びになられるといわれています。この八月に旬を迎えるものとして、

## 【野菜】

シントウ、トウモロコシ、冬瓜、南瓜。

## 【果物】

ブドウ、イチジク、スイカ、メロンなど。

## 【魚介類】

鱧、鮎、鱸、スルメイカ、キハダマグロ

## 【その他】

葉月と呼ばれるだけあって、葉が濃い緑で青々とし、登山では青葉狩りの季節です。また冷たい井戸水が殊更に美味しく感じます。七日には立秋を迎え、残暑となりますが、雲もなく暑さ最も厳しくなります。水分補給はこまめに採りましょう。

## 神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、

a u、モバイルPC 対応



編著 網敷天神社 禰宜（神主）

白江 秀知

